

NPO法人「生活企画ジェフリー」を立ち上げ 夫たちが新しい舌力を生み出す

渡辺 美恵

義父が脳梗塞で倒れたのは、私が36歳、子どもたちは小学1年と幼稚園でした。専業主婦かつ長男の嫁の私は、片道3時間の遠距離介護を5年間続けました。この経験は家族の自立を促しましたが、嫁役割は重かった。義父の死後、同居した義母がパーキンソン症候群核上性麻痺と診断され、また始まった介護生活。姑は、猜疑心や暴言を間断なくヒステリックに浴びせたのです。嫁の私にだけ。

姑のわがままもさびしいからだろうと考え、元気に振舞っていた私でしたが、体はSOSを発し、胃炎、狭心症、子宮筋腫と病院通いの日々。前後して、夫の単身赴任や子ども受験などでわが家の歯車は狂いはじめ、家庭は重苦しい空気に包まれました。もう私一人の我慢と知恵ではどうにもならない状態に、每晚「助

これが私のセカンドライフ

親は看たい、でも現実

けてください」と星に語りかけていたことを思い出します。親は見てあげたい、でも孤独だったし、苦しかった。その後、公民館学習を通じ、私の抱えている問題は女性たちに共通のテーマであること

■NPO法人設立

女性500人を対象に行った調査で妻たちは、「私は家事マシーンじゃない、家政婦じゃない」「私を見て、私の話を聞いて」と窮状を訴えていました。その声を夫や家族に伝えていないのです。なぜなら彼女たちは疲れ果て、あきらめてしまっていたから。

これではいけない。女性たちのくすぶりを徹底的にアピールすることで、男尊女尊時代の推進に一役買いたいと、「NPO法人生活企画ジェフリー」を立ち上げましたが、理事には

■話し合える夫婦関係を作る
生活企画ジェフリーは、家族の幸せを願って活動しています。そのためには、夫婦のどちらかが束縛されたり制約されることのない、男女平等の関係が重要だと考えます。そこで「女と男の今と未来の応援団」をキャッチフレーズに、男女が互いに尊重しあえる関係づくりを提案しています。悩みを聞きあう「しゃべり

活きも生み出してくれました。

場」や学びの「読書・学習会」を毎月1回開催、また、東京都助成研究「男のプライドと家族の幸福度調査」をはじめ、数多くの講演会やワークショップを開いてきました。また、市民まつりや青年会議所など様々な人々との交流も楽しく有意義な時間です。
あなたは今、自分らしく生きていますか。無理や我慢をしていますが。夫婦のズレや摩擦はなぜ起きるのか、語り合うには、等々をこれからも一緒に考えていきましょう。
ご参加お待ちしております。
(西東京市)

●NPO法人生活企画ジェフリー

*URL

<http://www11.plala.or.jp/seikatukikaku-gf/>

*連絡先

042-467-2089



◇ジェフリー企画、刊行物案内

男 祝縛、男 自由



『男だから祝縛、男だから自由』
「男のプライドと家族の幸福度調査」
の報告書・男性314人アンケートと
10人インタビューが語る、男とは?

- 頒 価 1,000円
- お申込 FAX 042-467-2096
- 事務所 西東京市南町4の13の26
- 理事長 渡辺美恵(フリーランス編集者)

◇シンボルマーク

2004年4月2日設立



WomenとMenの頭文字を重ね男女の平等と共同を表現。大空に向かって両手を広げたデザインは、男女の人権尊重を表現。点々は、男女平等の種が大きく広がり根付くことを祈って



生活企画ジェフリー：西東京青年会議所5周年記念でのパネル展示

これが私のセカンドライフ